

■HWTのイベント時の新型コロナウイルス感染症予防対策・改Ⅱ <これまで配信分は改 20200801> 2020.11.01

- * イベント参加中及び集合前、解散後も常時マスク着用（高温期…夏用、冷感用が望ましい）。
- * 会話は極力控え、風上側と風下側との会話は避ける。山歩き中も同様。止むを得ない場合は横並びになる。
- * マスク装着山行に対応し得る体力の維持、向上の為、日常での訓練（ジョギング、ウォーキング等）が重要。更には日常においても常時着用の習慣化が望ましい。
- * 各自携帯用消毒液を必ず**携行**し、手指の消毒の励行。
- * 対感染症必要携行用品：マスク（複数枚）、アルコール消毒液、使い捨て手袋（複数枚）、レジ袋（対コロナ用品廃棄用）等。
- * 設置物（ロープ等）、構造物（東屋等）、同行者の手指等に接触した場合、消毒を実施。もしも携行していない場合、協議会の消毒液を使用。
- * 用具の貸借、食品、おやつ類他物品の受け渡し禁止。人的接触（握手、ハグ他）の禁止。
- * 昼食時及び休憩時の対面座、円形座禁止（横並び&間隔 2m 維持方式）。
- * マスクを着用しない別グループ（又は個人）とは接触、会話はしない。距離を取る。離合時要注意。
- * 参加条件…参加日前 2 週間及び当日の体調不良者（発熱、咳、鼻水、頭痛/風邪症状、関節痛、下痢、疲労/倦怠感、嗅覚・味覚異常他）と新型コロナウイルス感染者又は近似症状のある方との濃厚接触の可能性ありの方は参加不可（お断り）。また、イベント参加後 2 週間以内に前述の症状（特に発熱）があった場合、必ずお知らせ願います（当日参加者に通知し、注意喚起します）。
- * 3 密を避けた新しい生活様式他各種予防対策を遵守。
- * イベント実施中に前述の遵守事項（マスク着用等）に反する場合、止む無く「単独離別行動か、下山」をお願いすることとなります。
- * 参加申込：「感染しない、させない」の予防対策を遵守、誓約し、原則「全てを**自己責任**」と自覚したうえで、参加申込願います。確認、誓約なき場合は参加をお断りいたします。
- * 金銭授受の禁止。ご厚意（参加費）は実施決定通知後の、実施日 3 日前迄の振込制（従来は当日支払い方式）。尚、登山講座・受講料は 3 ヶ月毎の前払い制（従来通り）。
- * 各種資料は全てメール添付配信制。
- * マスク常時着用による熱中症対策…定期的な小休憩&水分補給を多用する。特に登りは原則 10 分毎の休憩制。平坦路、下り：状況に応じて調整。急坂の場合、休憩回数及び時間を長めに調整する。
- * 集合場所での受付時及び解散時には手指の消毒を実施（消毒液：協議会で用意）。
- * 集合場所での参加受付時検温制（非接触型検温器使用）。高熱の場合（37.5 度以上）、参加不可（お断り）。
- * 体験会：定員 20 人の場合、従来の 2 班（1 班 10 人）制から 4 班（1 班 5 人）制とする。定員 10 人の場合、2 班（1 班 5 人）制とする。各班は単独行動制を基本とする。班ごとの間隔は 5m（全体の隊列:10 人の場合、21m、20 人の場合、47m になる）。
- * 登山講座（初級登山講座定員 5 人/中級登山講座定員 5 人）、山歩き体験会（定員 5 人）も 1 班 5 人制とする。尚、人と人との間隔は 2m 以上。
- * 登山講座での講師と受講生の対面時での間隔は、風上、風下を避けた上で 3m 以上とする。

広島湾岸トレイル協議会 2020.11.01

- ★山歩きの為の参考事例…「インナーマスク」着用での山歩きをしてみました<日時>10/24、28 <会場>茶臼山
装着テスト参加 4 名様の総評 *マスクが肌にまとわりつかないので「呼吸しやすい、喋りやすい」との報告が届いています<興味ある方は詳細をお問合せ下さい>。